

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2008年10月1日発行

つどいよっかいちは10月25日。もうすぐです。

先月末、はもりあ四日市に、午後の講演会でお世話になる、東レ経営研究所の佐々木常夫さんから、資料が届きました。その資料によると、基調講演では、東レで経験した事業改革、佐々木さんにとっての会社・仕事・家族、仕事のタイムマネジメント、なぜ今ワーク・ライフ・バランスなのか等についてお話いただくそうです。

今回のつどいよっかいちは、あさけプラザで行います。ぜひ、みなさん、お越しください。



## さんかくカレッジがはじまりました。(9/16~)

この事業は、男女共同参画社会の実現に向けて、毎年「さんかくカレッジ」としていくつかのテーマを設けて、連続講座で実施しています。

### 【第1弾は、市民企画講座「私、働きたい - 私の壁と社会の変化」】

第1回目は、ワークショップでした。「あなたと仕事」、「仕事についてのあなたの気持ち」を参加者一人ずつ話して、その後、四日市大学の松井真理子教授から助言をいただきながら、「あなたと仕事の間にある壁は何なのか」、「壁」をどう乗り越えればいいのかをグループで話し合いました。参加者からは、「働くための環境整備が十分でない」、「仕事と家庭が両立できるか不安」などさまざまな意見が出ました。

この講座は、公開講座をはさんで、11月18日まで続きます。これからの講座でも、働くためのヒントや、体験談などを盛り込みながら、学んでいきます。

### 【今年度は、あと3コース開催!!】

第2弾は、10月29日に開講する、健康に関する講座「きちんと知ろう。大切なわたしのからだー更年期を迎えるー」(詳細は、中面をご覧ください)、第3弾は、男性向けスイーツ講座「男だって甘いもの」と題し、11月13日にアトリエオランジェ オーナーパティシエの小林史明さんを講師にお招きして、“ふわふわクリスマスロール”を作ります。このスイーツ講座は11月13日1回みの講座です。そして、第4弾は、男性向け料理教室を11月22日に開講します。今年度は「基本のき」をテーマに、毎回、日替わりで和・洋・中の料理を学び、最後の回は、おもてなし料理を学びます。

ぜひ、ご参加ください。詳細は、随時、はもりあ四日市のホームページ、楠支所だより・地区市民センターだより等でお知らせしていきます。

## 公開講座 熊沢誠氏 講演会

『今、女性たちの労働は、どうなっているのか』

10月28日(火) 10:00~12:00 本町プラザ2階会議室

当日自由参加(受講料無料) 託児あります(事前予約が必要) 問合せ: はもりあ四日市

# 第2弾 今度は女性の健康に関する講座を開催!!

女性は、50歳前後で更年期を迎えます。更年期は、症状に個人差があると言われています。一人で悩んだり、心配したりしないで、自分自身のからだのこと、更年期のことなどについてきちんと学んでみませんか。これからの人生を前向きに過ごすために、おすすめの講座です。

日程	タイトル	講師
10/29(水) 10:00～12:00	自分の体、自分自身を大切にすること	高見陽子さん (ウィメンズセンター大阪)
11/12(水) 10:00～12:00	更年期は人生の大事な時間 その1 からだ	伊藤由恵さん (四日市市保健所副所長・医師)
11/26(水) 10:00～12:00	更年期は人生の大事な時間 その2 ころ	富安玲子さん (愛知淑徳大学教授・臨床心理士)
12/3(水) 13:30～15:30	これからのパートナーとの関係を考える	村瀬幸浩さん (“人間と性”教育研究協議会幹事)

## 公開講座

対市内在住、通勤または通学の、現在更年期かこれから更年期を迎える女性、またはその家族  
 定 30名(先着順) 費通して1,500円(公開講座は無料)  
 所本町プラザ2階会議室 託児無料(事前にお申込みください)  
 問合せ・申込みはもりあ四日市 TEL 354-8331 FAX 354-8339

## 「固定的性別役割分担意識」って聞いたことありますか？

漢字で書くと何のことが全くわからないと思いますが、例を挙げると、「男は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方のことなどを言います。

### 【「夫は仕事、妻は家庭」と考える人が35.8%】

四日市市が、平成18年に行った意識調査では、「夫は外で働き妻は家庭を守るべきである」という考え方について、35.8%の人が賛成と答え、全体の58.4%の人が反対と答えました。また、平成19年に国が行った調査でも、52.1%の人が反対と答えました。つまり、半数以上の方は、家事・育児・介護は男女が協力してやるべきだと考えています。しかし、日常生活に目を向けると、男性は長時間労働のために、もっと家庭に関わりたいたいと思っても関わらず、そういった状況下にある家庭では、家事・育児・介護の多くを女性が担っているという現状があります。このため、育児を理由に、一度仕事をやめてしまうことが多いです。そして、女性は、再び働くときはパートなどで働くことが多いです。

### 【育児は妻一人でするものじゃない】

1999年に制定された、「男女共同参画社会基本法」の前文には、「性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる」男女共同参画社会の実現が必要であると書かれています。

「固定的性別役割分担意識」は、この男女共同参画社会を目指すうえでブレーキになっています。

役割分担を変更するためには、社会全体の「育児は女性がするものだ！」という意識を変えることとともに、男性がもっと育児や家事・介護に参加できるように、現在よりも仕事時間数を減らす仕組みづくりが重要です。



# つどいよっかいち いよいよ25日開催!

期 日 10月25日(土曜日)  
会 場 あさけプラザ

つどいよっかいちは、終日託児があります。  
事前に申込みがいりますが、ワークショップ  
だけ、講演会だけ...などでも利用できます。  
お子さんを託児者にまかせて、ゆっくり参加して  
みませんか? (事前申込 354-8331)

## 午後の部の詳細が決定しました!!

オープニング ダンス・パフォーマンス PUZZLE

体験ひろば こどもスペース四日市のこどもたちによる、ヒップホップダンス。みんなの前で踊るのはドキドキものだけど、頑張ってパフォーマンスしてくれます。

講演会 佐々木 常夫氏講演会 「ワーク・ライフ・バランス 私は仕事も家族も決してあきらめない」  
(株式会社 東レ経営研究所 代表取締役社長)

入社後、順調にキャリアを重ねる一方、家庭では、自閉症の長男、年子の次男、年子の長女、そして肝臓病を患い、入退院を繰り返す中、うつ病を併発した妻と暮らす。妻に代わり、育児、家事をこなしながら、仕事への情熱を捨てず、現在のキャリアを築いてきた佐々木氏。「ワーク・ライフ・バランス」のモデルとして、高い関心を呼んでいます。

パネルディスカッション

三重県男女共同参画センターの鈴山雅子所長にコーディネーターをお願いして、佐々木常夫さんと、市内企業の方とでパネルディスカッションを開催します。パネリストは、市内企業を代表して、仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる旭電気代表取締役の前田光久さんと、日本ケミカル工業製造部第4工場長の館和美さんの3人です。ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けて、現状や、今私たちにできることなどを考えていきます。

## 今月のおすすめ本

図書コーナーには、女性ならではの健康に関する本もたくさんあります。

「メノポーズ革命」

「メノポーズ」とは閉経のことです。閉経と聞くと、「女ではなくなる」と考えたあなた! あなたは間違っています。筆者は、閉経を迎えたときのことを「若さを失った、のではなく、若さから開放されたのだ」と記しています。まさにそのとおり。月経があるうとなかろうと女性は女性。人生に賞味期限はないのです!

「更年期障害

心身のゆらぎとうまくつきあえない、乗り越えよう」

不眠・だるさなど不快な症状。「これって更年期?」この本には、参考にしたいいろいろな人の更年期の体験談となぜ更年期が起きるのか、気がかりな症状や病気の例が載っています。悩みや心の不安を解消するためのアドバイスが書かれています。1單元ずつが短いので、気になるところだけつまみ読みも可能です!



今月のキーワード

## ジェンダー・エンパワーメント指数

ジェンダー・エンパワーメント指数(GEM)とは、今まで女性があまり活躍していなかった政治や経済の分野に、女性がどのくらい進出しているかを示す指数のことです。具体的には、国会議員に占める女性の割合や、管理職に占める女性の割合などを比較しています。この数字を見ると、男女格差や経済的自立度がわかります。

国連は、「人間開発報告書」のなかで、平均寿命、成人識字率、国民所得などを比較した指標(HDI)や、上記の GMI を毎年発表しています。日本は、HDIは177カ国中8位なのに、GMIは93カ国中なんと54位。そして、順位は、昨年42位から更に下がっています。

もっと女性と男性がともに活躍する社会になるためには、社会全体で男性だから、女性だからといった固定的性別役割分担意識をなくすことが重要です。



## 登録グループイベント情報

### 四日市縦断ハートフル上映会 ドキュメンタリー映画 「1/4の奇跡」

10月10日(金) 時 10:20～12:00(開場 9:45) 定 120名 所 楠ふれあいセンター ゆめの木  
 10月10日(金) 時 18:00～20:10(開場 18:00) 定 120名 所 文化会館  
 10月13日(月祝) 時 10:20～12:00(開場 9:45)、13:30～15:10(開場 13:00) 定 各90名 所 あさけプラザ  
 費 前売 一般 1,000円(当日 1,200円)  
 高校生以下および障がい者とその介助者 500円(当日 600円)  
 問 NPO法人あいプロジェクト 恒矢(090-5606-8721)

### 10月12日(日) だめママクラブ「理想とのギャップ」

「だめママクラブ」は、自分の気持ちを話す場所です。予約はいりません。お子様連れでどうぞ。  
 時 10:00～12:00 費 300円 所 はもりあ四日市(本町プラザ3階) 会議室  
 問 ままたまご 水谷(080-5166-9864)

### 10月25日(土) 劇団うりんこ公演「だってだってのおばあさん」

時 開演 18:30 開場 18:00 費 前売 2,500円 当日 3,000円  
 所 笹川西小学校体育館  
 問 NPO法人 体験ひろば こどもスペース四日市(321-0883)  
 四日市まんなか子ども劇場(351-6670)  
 子育て広場 ドロップin(363-3728)

## 登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。今回は、シーズネット三重さんです。

# シーズネット三重

代表者 加藤 信子 会員数名 105名  
 連絡先 TEL/FAX 352-2674

1. 出入り自由、2. 上下関係なし、3. 自主参加をモットーに、楽しく気楽にやっっていこうと思っているシニアの団体です。高齢社会に進む中、いかに自立して、楽しく生きがいのある生活を過ごしていくかが最大のテーマです。何かしようと思っても、一人ではなかなか踏み出せません。会員自らが提案した、さまざまな事業の情報を発信するために、会報を月1回発行して参加者を募っています。あなたももっともっと輝くために、一度参加してみませんか？



### 四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F  
 TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml